

春播きトウモロコシ奨励品種 P1341、LG31.588 の熊本県における品種特性
春播きトウモロコシ「P1341（商品名：P1341）」、「LG31.588（商品名：スーデント 115）」は、収量性および耐倒伏性に優れ、有望である。
農業研究センター畜産研究所飼料研究室（担当者：喜舎場 芽生）

研究のねらい

高収量、高品質なトウモロコシの品種を飼料作物奨励品種として選定し、自給飼料の生産性向上と畜産経営の安定を図る。

研究の成果

1. P1341、LG31.588 は、3 月下旬に播種した場合、8 月上旬に収穫できる（表 1）。
2. P1341、LG31.588 は、比較品種と同程度の耐倒伏性と病害虫への抵抗性が期待できるが、LG31.588 は、比較品種よりごま葉枯病の抵抗性が有意に低かった（表 2）。
3. P1341、LG31.588 は、比較品種と同等以上の乾物収量が期待でき、有望である（表 3、図 1）。

注）比較品種：本県の奨励品種として指定されている品種

成果の活用面・留意点

1. 生育状況および収量については、気象条件、土壌条件の影響を受けるため、適期播種と適正な肥培管理を行う必要がある。
2. ツマジロクサヨトウが発生した時は、速やかに防除等の対策を行う必要がある。

【具体的データ】 No. 1119（令和 7 年（2025 年） 6 月）分類コード 01-11 熊本県農林水産部

比較品種：P1690（商品名：P1690）（R4, 5）

JG7024（商品名：グリーンデント 115）（R6）

表 1 生育特性に関する結果

品種	商品名	相対 熟度	播種から収 穫の期まで の日数	稈長 cm	着雌穂高 cm	着雌穂高 /稈長 %
P1341	P1341	115	115.7	301.8	136.3	45.5
LG31.588	スノーデント115	115	115.7	319.7 *	130.4	40.8
比較品種	比較品種	115	115.5	289.9	136.6	47.4

- 1) 数値は調査年の平均
- 2) 播種期は令和4年4月4日、令和5年4月5日、令和6年3月29日。
- 3) 1区は12㎡とし、3反復で実施した。
- 4) 施肥量は、たい肥300kg/a、N:1.5kg/a、P₂O₅:1.5kg/a、K₂O:1.5kg/a。
- 5) 収量調査は、絹糸抽出期から38日目を基準とした。
- 6) 比較品種との間に有意差あり（Dunnett Contrasts *:p<0.05）

表2 倒伏性、病害抵抗性に関する調査結果

品種	商品名	倒伏 %	折損 %	虫害 %	ごま葉枯 病 1-9甚	南方サビ 病 1-9甚	紋枯病 罹病率 %
P1341	P1341	0.0	0.0	0.4	1.6	1.2	29.2
LG31.588	スノーデント115	0.0	0.0	0.3	2.0 *	1.2	16.0
比較品種	比較品種	0.4	0.5	0.6	1.2	1.2	28.5

- 1) 数値は調査年の平均
- 2) 虫害はアワヨトウ、アワノメイガ、ツマジロクサヨトウによる倒伏・折損
- 3) 試験ほ場は、連作により紋枯病が発生している。
- 4) 比較品種との間に有意差あり（Dunnett Contrasts *:p<0.05）

表3 収量性に関する調査結果

品種	商品名	乾物茎葉 収量 kg/a	乾物雌穂 収量 kg/a	総乾物 収量 kg/a	総乾物率 %
P1341	P1341	101.4 *	108.2	209.6	30.9
LG31.588	スノーデント115	100.5 *	97.9	198.4	29.6 *
比較品種	比較品種	88.8	109.3	198.1	32.0

- 1) 数値は調査年の平均
- 2) 比較品種との間に有意差あり（Dunnett Contrasts *:p<0.05）

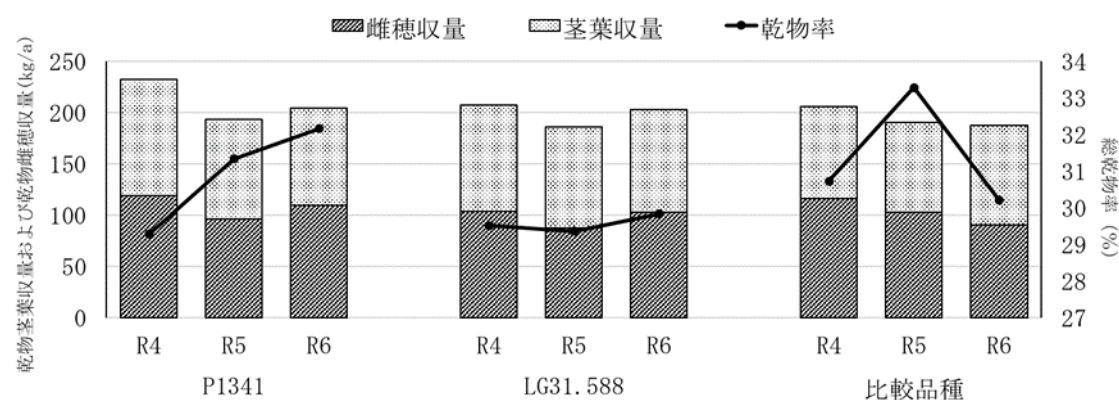


図 1 乾物茎葉収量および乾物雌穂収量 (kg/a)